

薬物乱用防止教室（3・5年）レポート（R1.12.19）

講師：日本薬科大学 特命教授 奈佐 吉久 先生

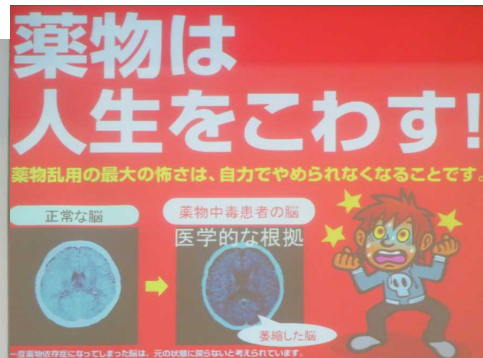


○サルによる薬物依存の実験

サルによる薬物依存の実験 <結果>

薬物名	分類	レバーを押した回数
モルヒネ	麻薬	6,400 - 12,800
コカイン	麻薬	9,100 - 12,800
アンフェタミン	覚せい剤	2,690 - 4,530
アルコール	お酒の成分	3,200 - 5,600
ニコチン	タバコの成分	400 - 1,900
カフェイン	コーヒー、紅茶の成分	> 100

薬物依存になったときに、今度はレバーを押しても薬が出ないようにしてしまう。サルは薬が欲しいため、薬の出ないレバーを押し続けるようになる。しかしながら、何回押しても薬が出ないため、最後は“もう得られない”と諦める。諦めるまでに、サルは何回レバーを押したのか？



- まとめ 忘れないで下さい
- 薬物乱用は 人生をこわす
  - 体が欲しがり続ける (依存症)
  - 一度刺激を受けた脳は、再び元に戻らない  
その影響は生涯続く (未来を失う)
  - 快楽は一瞬 後悔は一生涯
  - 大麻・覚せい剤 (危険な薬物) への誘いは、自分のすぐ身近にある
  - 甘い誘いには「No!!」と言える勇気を
  - 薬物乱用を見たら、信頼できる人に相談を

**NO DRUG**  
薬物の心いっしょに危険な生活へ

薬物乱用とは？

薬物乱用を始めるきっかけは、**刺激を求めて、好奇心と誘惑です。**

薬物の依存になりやすい人の特徴

- 人混みやうざいっていい
- 強いストレスを抱えている
- 変態・飲酒常習者
- 自分に自信がない
- 誘惑を感じている

乱用される危険性のある主な薬物

- 覚せい剤
- 大麻
- ヘロイン
- コカイン
- MDMA
- 危険ドラッグ
- シンナー

乱用される薬物は、必ずしも危険な薬物です。

- 自分のすぐ身近にある
- 甘い誘いには「No!!」と言える勇気を
  - 薬物乱用を見たら、信頼できる人に相談を



**危険**

